「ＣＡＴＹ」の名前は、「ＣＡｍｐｕｓ」と「ｃｉＴＹ」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。「地域との共生　社会に学ぶ」を合いことばに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。
http://www.kokugakuin-jc.ac.jp

ニュース　キャティ
News CATY
２０１６年10月
第103号

発行／國學院大學
北海道短期大学部
滝川市文京町３－１－１
TEL0125-23-4111　FAX0125-23-5590
編集事務局長　平野富康

「稔りの秋を実感」生産者の苦労も

稲刈りやはさかけ体験

児童教育コースの２年生は10月５日に滝川市江部乙町にある平澤農場にて、稲刈り・はさかけの体験をしました。今年の６月に田植えをした「きたくりん」の稲は、天候に恵まれたことや、とんぼの会の方や農家の皆さんが手塩にかけていただいたおかげで立派な稲に育ちました。

稲刈りと、はさかけの体験をする前に、農家の平澤さんたちが稲の刈り方や刈った稲を束ねて、はさかけするお手本を見せてもらいました。そして、いざ体験をしてみると稲を刈るのは簡単にできたのですが、刈った稲をまとめて束ね、はさかけをするのは思っていたより難しく、苦戦する２年生がたくさんいました。しかし、稲を束ねるとき少しでも稲を縛る所が緩いと、はさかけをした時にうまく乾燥しないため、みんな真剣に取り組んでいました。そして、農家の方々のわかりやすい指導のおかげもあり無事に稲刈りと、はさかけを終えることが出来ました。

今回私たちは手作業で体験しましたが現在ほとんどの農家さんは機械を使って稲刈りと、はさかけを行っているそうです。機械がなかった昔は私たちが体験したように全て手作業で行っていたのでそのことを考えると、お米を作ることがいかに大変だったか私たちは身をもって知ることが出来ました。

今回体験した児童教育コースの学生のほとんどが稲刈りをしたことがなかったため、みんな慣れない手つきながらも真剣に取り組みました。また、お米を作ることの大変さを改めて知ることができ、普段食べているお米一粒一粒を大切にし農家の方々への感謝の気持ちをもっていこうと思いました。（幼児・児童教育学科　児童教育コース２年／河村尚己）

ゼミ紹介

新聞記事テーマに学ぶ

平野ゼミ　様々な視点で議論

平野ゼミは、基本的に毎回学生が議論したいテーマについての新聞記事を探し、１枚のレジュメにまとめ、報告します。テーマを選らんだきっかけ、要約、問題点、自分の意見、の４つで構成されており、文章の要点を正確に把握し、関連する知識を調べ、自分の中での結論を導いていくことが重要となります。

基本的に自分の好きなテーマについてまとめるので、自分の意見にはある程度自信を持って臨むのですが、他の学生や先生と議論をしていくと、自分の思いもよらないような視点からの意見が出てきたり、自分の考えが及ばないような深い所に迫る意見がでてくるため、自分の視野の狭さに気づかされると同時に、授業が終わった後にもそのテーマについてさらに深く考えていく原動力になります。

このように、ゼミの時間では学生の興味関心に沿ったテーマを、先生や他の学生との議論を通じて大学レベルの考えに昇華させていき、それについての解釈を１つ１つ形成していきます。基本的な知識を得て、多様な意見を認めたうえで、はっきりと自分の意見を持つというこの思考方法は、自分が今後どのような道に進むとしても必要なベースになると感じ、このゼミで学んでいることは、とても有意義なことだと実感しています。（総合教養学科２年／丸子祐太郎）

郷土愛に富んだ住民

弁井ゼミが東川町で合宿

私たち弁井ゼミは、９月27日から２泊３日で旭川市に隣接し、まちづくりの先進地として知られる東川町で合宿を行いました。合宿では旭岳の自然を活用したまちづくりを視察したり、レンタサイクルで東川町の良い所を探すゲームをしたり、最先端の小学校である東川小学校の見学など、本当に充実した合宿となりました。

合宿を通して私が一番感じたことは「東川町の人は東川町を愛している」ということです。東川町にはチェーン店が少なく、東川町の人たちや東川町に魅せられた移住者が自ら店を開き、東川町をさらに発展させようと取り組んでいました。また、東川町には2006年に誕生したグリーンヴィレッジという分譲住宅街があり、一戸一戸が本当におしゃれな家で、ただ家が並んでいるというだけでなく、綺麗な景観も見ながら同時に豊かな自然も感じることが出来る、素晴らしい住宅街だと感じました。

東川町の人たちには、都会にはない独自のスタイルを持っていると感じました。私が北海道に来たのは昨年の４月。もし機会があれば、将来は北海道に住みたいと思うようになっていましたが、滝川市以外ではグリーンヴィレッジにも住んでみたいなと思いました。

この合宿で学んだことをヒントに、２年生は残りの限られた時間でのゼミの活動に少しでも活かせるように、また１年生には滝川市がさらに活気ある町になるよう様々な取り組みを試行錯誤しまちづくりに取り組んで欲しいと思います。（総合教養学科２年／中川喬博）

学生が考えるまちづくりを多角的に学ぶ

名古屋の「まちカレ」に参加して

私は10月15、16日に開催された「全国まちづくりカレッジｉｎ名古屋（まちカレ）」に参加しました。「まちカレ」とは、各地域でまちづくりに関わる大学生たちが集い、交流を深める一大イベントです。今回は、名古屋学院大学で行われました。

1日目は、22団体の日々の取り組みを纏めたプレゼン、課題解決ワークショップという、ある課題について他大学の学生数人とグループになり、それを解決するための話し合いを行いました。２日目には、他大学の学生数人のグループで今回の開催校である名古屋学院大学周辺のポイントを目指して歩くロゲイニングと呼ばれるゲームを行いました。その後、参加団体ごとに分かれて今回のまちカレで何を学び、そして今後の活動にどう繋げていきたいかをゼミ生全員で考えて宣言にまとめ、発表しました。

私にとって一番勉強になったのは課題解決ワークショップです。様々な内容の課題がある中で「学生が考えるまちづくりとは？」について話し合いました。他大学の学生の意見は自分では思いもつかないような考えだったり、全く違う角度からの意見でした。私は、今よりも柔軟で広い視点から意見を出す重要性を学びました。一方で他の学生の意見を聞いた上で自分の考えをしっかりと発言することができました。これには入学時からやってきた「ゼミの活動」が決して無駄なものではなく身になっていたのだと感じられ、自信となりました。

今回のまちカレで学んだことを今後のゼミの活動に活かしていきたいです。（総合教養学科１年／海野杜昂）

占冠で雄大な自然満喫

学生会が北海道の思い出作り企画

10月１日、２日に学生会企画として総勢29名（２年生17名、１年生12名）の学生で、占冠村の星野リゾートへ雲海を見に行きました。この企画は、本学には北海道外からの入学者が多いので、２年間での北海道生活ならではの思い出を作るため、２年生の学生会メンバーを中心に企画しました。昨年も学生企画を計画していましたが、昨年は思うように決まらず、中止になってしまい、実施は今年が初めての試みでした。

到着後は自由行動とし、リゾート地である施設の無料のプールで遊んだり、温泉に入浴し、個人個人でリラックスしたアクティビティを行いました。夜には、参加学生全員で夕食をとり、世界的有名な建築家でもある安藤忠雄設計の『水の教会』を見学したり、リゾート内を散歩する人、温泉に入浴する人などがおり、夕食後も各自楽しい時間を過ごすことができました。

２日目の朝には、本企画の目的でもある雲海を見学するため早朝４時に集合しました。生憎の天気できれいな雲海を見ることはできませんでしたが、きれいな日の出を参加者と見ることができ、学生一同感動していました。

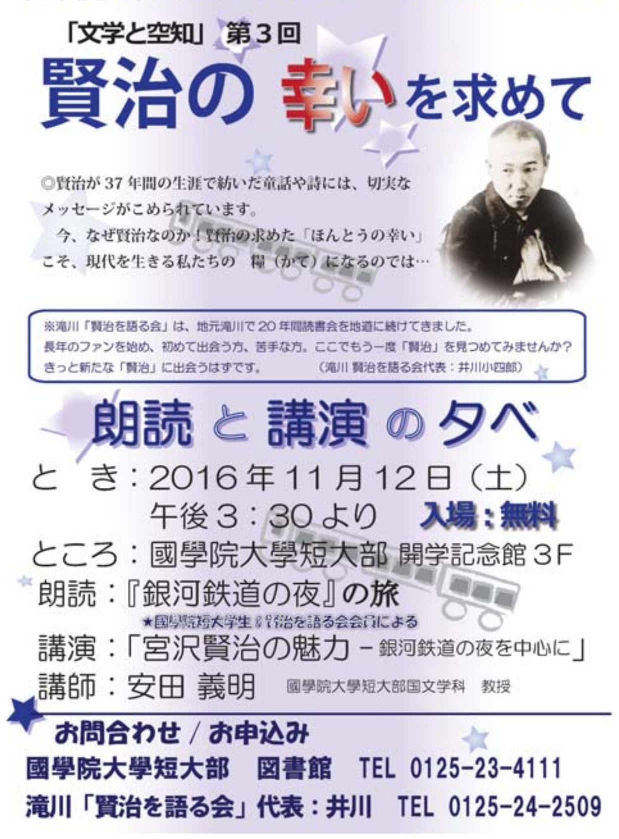
雲海には出会えませんでしたが、参加した学生一同満足でした。企画としては成功だったと思います。学生会の２年生の活動は今回で終了ですが、次期学生会メンバーと学生には学生生活をさらに盛り上げられるよう期待したいと思います。（幼児・児童教育学科　児童教育コース２年／星遼希）

第３回「文学と空知」

滝川市内で活動している「賢治を語る会」の20周年を記念して、左記の通り朗読会と講演会を実施します。宮沢賢治のファン、はじめて賢治を知りたい人、もう一度賢治を見つめ直したい人は是非ご参加下さい。

記

▽テーマ／「賢治の幸いをもとめて～朗読と講演の夕べ」
▽日　程／平成28年11月12日（土）午後３時30分
▽場　所／本学開学記念館３階
▽参加費／無料
▽内　容／朗読『銀河鉄道の夜』の旅
　　　学生と賢治を語る会会員による
　講演「宮沢賢治の魅力―銀河鉄道の夜を中心に」
　講師／安田義明（本学国文学科教授）



國學院大學短大部図書館主催　滝川 賢治を語る会共催

「文学と空知」第３回

賢治の幸いを求めて

◎賢治が37年間の生涯で紡いだ童話や詩には、切実なメッセージがこめられています。
今、なぜ賢治なのか！賢治の求めた「ほんとうの幸い」こそ、現代を生きる私たちの糧（かて）になるのでは…

※滝川「賢治を語る会」は、地元滝川で20年間読書会を地道に続けてきました。
長年のファンを始め、初めて出会う方、苦手な方。ここでもう一度「賢治」を見つめてみませんか？
きっと新たな「賢治」に出会うはずです。　（滝川 賢治を語る会代表：井川小四郎）

朗読と講演の夕べ

と　き：2016年11月12日（土）
　　午後３：30より　入場：無料
ところ：國學院大學短大部 開学記念館３F
朗読：『銀河鉄道の夜』の旅
★國學院短大学生＆賢治を語る会会員による
講演：「宮沢賢治の魅力－銀河鉄道の夜を中心に」
講師：安田 義明　國學院大學短大部国文学科　教授

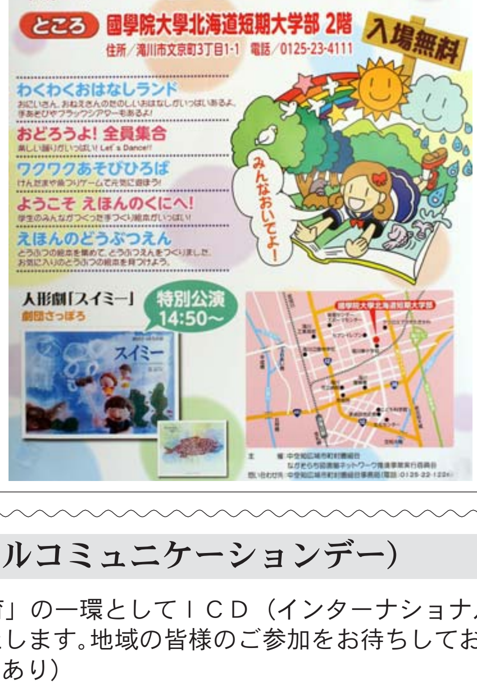
お問合わせ / お申込み
國學院大學短大部　図書館　TEL 0125-23-4111
滝川「賢治を語る会」代表：井川　TEL 0125-24-2509

おはなしカーニバル

なかそらち図書館ネットワーク推進事業として「おはなしカーニバル」を実施します。学生たちが子供たちを待っています。是非お子様と一緒にご参加下さい。入場無料です。

記

▽日時　平成28年11月19日（土）
　　　午後12時30分～午後３時30分
▽場所　本学２階
▽内容　①「わくわくおはなしランド」②「おどろうよ！全員集合」③「ようこそ えほんのくにへ」④人形劇「スイミー」



平成28年なかそらち図書館ネットワーク推進事業
おはなしカーニバル
國學院大學北海道短期大学部学生との協働事業
とき　平成28年　11月19日㊏　時間 12:30～15:30
ところ　國學院大學北海道短期大学部 2階
住所／滝川市文京町3丁目1-1　電話／0125-23-4111
入場無料
わくわくおはなしランド
おどろうよ！全員集合
Let's Dance!!
ワクワクあそびひろば
ようこそ えほんのくにへ!
えほんのどうぶつえん
みんなおいでよ!
人形劇「スイミー」
劇団さっぽろ
特別公演 14:50～
スイミー

子育てサロン「ありす」

子育て中のお父さん、お母さん、お子さんのための広場です。お子さんを連れて、気軽に遊びに来て下さい。

対 象 者　おおむね０～５歳未満の子どもとその家族
参 加 料　１家庭あたり100円（保険料を含む）
申し込み　開催日の前日15：00まで　（先着30人）

次回開催日　11月17日(木)
テーマ:学生の出し物を見よう!

Ｎｅｗｓ　ＣＡＴＹカラー版
ホームページに掲載中

ＩＣＤ(インターナショナルコミュニケーションデー)

総合教養学科では、「地域に開かれた英語教育」の一環としてＩＣＤ（インターナショナル・コミュニケーション・デー）を下記の要領で開催いたします。地域の皆様のご参加をお待ちしております。
日時／11月12日（土）　14:30～17:20（途中休憩あり）

会場／hotel miura kaen（ホテル三浦華園）
内容／講演（講師: Denis Quinn）
短編映画の上映
・「近すぎる空」（Too Close to the Sky）
　第６回札幌国際短編映画祭で上映された作品です
・「一縷の願い」（Silver）
各国のゲストティーチャーとのグループディスカッション
　（使用言語は英語ですが、初心者でも参加しやすい形式です）

International Communication Day